

第4回造山古墳まつりを開催します ～千足古墳石室、4月30日（日）から一般公開～

造山古墳のガイドをしてくださっている地元団体・造山古墳蘇生会と協働で第4回造山古墳まつりを開催します。また、造山古墳の陪塚である千足古墳の石室を、4月30日（日）より一般公開します。当日はビジターセンター3周年や石室公開を記念したセレモニーも開催します。

1 日時

令和5年4月30日（日） 10時～15時15分（予定）

※記念セレモニーは、10時～10時30分

2 場所

岡山市造山古墳ビジターセンター駐車場（北区新庄下）

※会場及び会場周辺には、一般来場者向けの駐車場はありません。お越しの際は、臨時往復シャトルバスをご利用ください。（詳細は、別添チラシ参照）

3 内容

(1) 記念セレモニー

出席者：主催者 岡山市長 大森 雅夫、岡山市教育委員会教育長 三宅 泰司、
造山古墳蘇生会会長 定廣 好和

来賓者 岡山市議会議長 和氣 健、衆議院議員 逢沢 一郎
造山町内会長 小野 武彦、千足町内会長 小野 敬治

(2) ステージイベント等

記念セレモニー終了後、古墳の魅力をラップに乗せてぶつけ合う“KOFUN ラップバトル”や、地元小中高生による演奏や踊りなど、さまざまなステージイベントをお届けします。

4 その他

- ・会場では、飲食ブースや古墳グッズの出店、ワークショップや古墳めぐりなども開催します。
- ・千足古墳の石室公開は記念セレモニー後に開始します。
- ・詳細は、別添チラシをご覧ください。
- ・駐車場所確保の関係上、取材を希望する社は、4月27日（木）15時までに、プロモーション・MICE推進課（803-1333）までご連絡ください。

【問い合わせ先】

岡山市観光振興課 板野、プロモーション・MICE推進課 宮本、文化財課 草原
直通086-803-1332/1333/1611 内線4532・4534・3875



演奏や演舞などの
ステージ



KOFUN
ラップバトル



古墳グッズ販売



文化財課職員の案内により
千足古墳の石室
大公開!!

オリジナル
まが玉作り

ノートルダム清心女子大学
葉口ゼミの学生さんによる
古墳を周遊する
クイズラリー
参加者にはノベルティを
プレゼント!!

つくりやまん
缶バッジ

4月30日より
大公開!!
千足古墳石室

岡山で出逢う、もうひとつの桃太郎伝説

押し温羅2023!
—実は押しは“温羅”なんです!—

みんなで看板を作ろう!
ライブペイント



会場でアンケートを
ご記入いただいた方に
古墳ふせん
プレゼント!

造山古墳 第4回 まつり

2023年4月30日(日) 10:00~15:15 (予定)

※冒頭にオープニングセレモニーを行います。

造山古墳ビジターセンター駐車場

P 会場および会場周辺に駐車場はございません。

お越しの際は最寄りの臨時往復シャトルバスをご利用ください。

詳しくは裏面をご覧ください。

※駐輪場は会場入口にあります。

大阪府堺市の
市長直轄特命部長
“ハニワ部長”も
遊びに来るよ!

造山古墳
ビジターセンター
開館3周年

造山古墳まつり 主催 造山古墳蘇生会 共催 加茂学区連合町内会 加茂学区安全安心ネットワーク 後援 おかやま観光コンベンション協会

造山古墳ビジターセンター開館3周年・千足古墳石室公開記念セレモニー

主催 岡山市 岡山市教育委員会 日本遺産「桃太郎伝説の生まれたまち おかやま」推進協議会

— ワークショップ、グッズ販売は、終日行っています —

ステージ / 10:30~(予定)

KOFUN ラップバトル

地元のHIP HOP団体が、
自分のまちにある古墳の魅力、古墳への愛を、
ラップのリズムに乗せてぶつけ合う！
観客の盛り上がりか勝敗を決める、ラップバトルトーナメント。

古墳にコーファン協会認定 全国の古墳グッズ販売

身につけるもよし！ 使うもよし！ 愛でるもよし！
Tシャツやトートバッグ、メモ帳やふせん、
マグネットなどの文房具、アクセサリや置物など、
全国に点在する古墳作家さんのグッズを販売します。

温羅もびっくり!! 砂鉄スライム

磁石を近づけるとムニムニ動く、
真っ黒なスライム!! 昔むかし、温羅が伝えた
製鉄の技術によって、
吉備の国が発展したことを学びながら
スライムを作ります。

みんなで看板を作る!! ライブペイント

大きなキャンバスに、子どもたちが手や足を使って
ダイナミックに絵を描く、ライブペイント。完成した絵は、
造山古墳ビジターセンターの看板となります(期間限定)。
開館3周年を華やかに彩る看板作りに参加しよう!



古墳フェス はにコット Presents

はにコット

こんなハニワが あったらいいなあ in 岡山

子どもたちが自由な発想で描く、現代のハニワ
デザインコンテスト。グランプリに輝いたハニワは、
紙を飛び出し、ぬいぐるみにしてプレゼントします!



「古墳フェス はにコット」とは— 一人が入ることのできる
唯一の大王墓として知られる、大阪府高槻市の今城塚古墳
を会場とした、4万人が集まるアートと古墳のフェス。

墳丘上で楽しむ

オリジナルまが玉作り

天然の石を切って削って、世界に一つだけのまが玉を作ります。
古代の人々が、お守りや魔除けとして身につけていたまが玉。
どんな人が、どんな気持ちで身につけていたんだろう?!

当日は岡山市文化財課職員がご一緒します。

第4回 造山古墳まつり ステージ 11:00~

最上太鼓演奏
(岡山県立高松農業高等学校郷土芸能部)
オカリナ演奏 (たのしいオカリナ)
合奏 (岡山市立加茂小学校児童)

三味線餅つき
(吉備津三味線餅つき保存会)
桃太郎伝説読み聞かせ (女優 瑞穂 実)
ダンス (ジュニアTKM)

うらじゃ躍り (加茂うらじゃ連)
躍り (桃の会)
吹奏楽
(岡山市立高松中学校吹奏楽部+ ONE)

まつり会場 周辺マップ

造山古墳ビジターセンター
〒701-1344
岡山市北区新庄下789

造山古墳
千足古墳

まつり会場
駐輪場あり



会場への各往復 シャトルバス運行表

備中高松駅 発		
8:10	10:50	14:20
8:45	11:40	14:55
9:20	12:40	15:30
10:00	13:20	16:05
足守川河川敷 発		
9:20	11:20	14:20
9:40	11:40	14:40
10:00	13:00	15:00
10:20	13:20	15:20
10:40	13:40	15:40
11:00	14:00	



会場および会場周辺は駐車禁止となっております。
お越しの際は最寄りの臨時往復シャトルバスをご利用ください。



\ズバリ解説!\

造山古墳に眠る王者の正体

岡山市説



古墳時代前期の吉備

造山古墳は墳長350m、全国第四位の規模、登れる古墳としては日本一の大きさです。時代は古墳時代中期、5世紀前半に築かれています。吉備では、古墳時代前期でも墳長が100mを超える大型古墳が6墳も築かれており、近畿を除くと最も多く築かれています。これらのことから、吉備は全国的にみても大きな勢力を持っていたと考えられます。

そこで、私たち独自の考えとして、造山古墳に眠っている王者の正体を探ってみたいと思います。

5つのポイント!

造山古墳に眠る王者は誰か?

- 1 造山古墳は、吉備の王墓です。大和の大王墓（履中天皇陵古墳）とほぼ同じ大きさです。
- 2 造山古墳や周囲の古墳へは、九州の天草や阿蘇（熊本県）などの各地から、石棺、石障、石室石材が運ばれてきています。それらを運ばせる強い影響力があったことを示しています。
- 3 古事記、日本書紀などの古い文献によると九州、四国、東海、北陸には、吉備の系譜を引く有力豪族がいたようです。大和の大王と同様に、自分の身内やまわりの豪族を派遣する権利を持っていたと考えられます。
- 4 吉備には、大王の皇子（吉備津彦命）と互角の力を持った温羅がいた伝説があります。これが桃太郎伝説につながったといえます。
- 5 しかし、造山古墳の時代には、大和と吉備が戦った証拠はありません。お互いに融和し、協力していたに違いありません。

以上のことから、造山古墳には大和の大王に匹敵する勢力があり、各地に豪族を派遣できる政治力を持った吉備の王が葬られていると考えることができます。大和の大王にとって、吉備の王は、倭国をまとめるうえで、必要不可欠な存在であったのです。



吉備の王墓と大和の大王墓

造山古墳（墳長350m）は西暦5世紀前半、今から約1,600年前に築かれた巨大前方後円墳です。同じ時代に築かれた巨大古墳は、上石津ミサンザイ古墳（履中天皇陵古墳）（墳長360m）です。造山古墳とほぼ同じ大きさです。古墳の大きさは、それぞれの勢力の大きさを示しています。吉備の王は大和の大王と並ぶ、あるいは匹敵する勢力であったことを示しています。吉備の尊は、日本列島に鳴り響いていたことでしょう。



吉備の大王墓(造山古墳)



大和の大王墓（上石津ミサンザイ古墳）（履中陵古墳）



日本遺産
純太郎伝説

はるばる運ばれてきた千足古墳の石障

—吉備の国と肥(火)の国の友好関係—

千足古墳も造山古墳と同様に、今から約1,600年前につくられました。長さが約80mの、短い前方部が付属した帆立貝形古墳です。造山古墳の陪塚として造られ、造山古墳に眠っている王者の身近な人が眠っているのではないかと思います。この古墳の特徴は、後円部の石室です。香川県産の安山岩で積み上げられた石室の内部に、熊本産の砂岩製の板石で囲った石障が置かれています。石室の形状も、一般的だった竪穴石室ではなく、朝鮮半島由来で、最先端の横穴式石室が採用されています。

とくに、石障がやって来た道は厳しかったと考えられます。熊本県で切り出された石材は、島原半島を経て玄界灘から瀬戸内海へ入る海上ルートで運ばれ、陸上では木製ソリ（修羅）にのせ、人力で運びました。おそらく、吉備と肥の国の人々の共同作業であったと考えられます。千足古墳に到着した時は、大きな歓声に包まれて迎えられたことでしょう。



押し古墳 4 選

「桃太郎伝説」の舞台となった吉備には、数多くの古墳が見られます。とくに吉備の古墳は巨大で、大和王権の大王に対抗した、吉備の王者のお墓です。そのうち、各市の“押し古墳”を4墳、紹介します。

岡山市 牟佐大塚古墳 (岡山市北区牟佐)

黄泉の国を体験できる古墳です。黄泉の国とは、死者の国です。人を葬る玄室へは長い羨道が続き、真っ暗な玄室には巨大な石棺が置かれています。家形石棺です。吉備で最も大きな家形石棺です。石室の全長は18mもあります。吉備には同等の石室が3つもあり、吉備の3大巨石墳と呼ばれています。誰が葬られていたのでしょうか。牟佐が上道郡と赤坂郡の境であることから、両郡に勢力を及ぼすことが出来た上道氏の墓と考えられます。



倉敷市 箭田大塚古墳 (倉敷市真備町箭田)

巨大な石を積み上げた巨大な石室、それが箭田大塚古墳です。石室の長さは19.1m、ほぼ飛鳥の石舞台古墳と同じです。石舞台古墳は、蘇我馬子の墓と考えられています。蘇我馬子は、飛鳥時代の有力豪族で、天皇をもしのぐ権力をもっていました。吉備には、それと同等の人がいたわけです。古墳の位置が、下道郡に相当することから、下道氏、吉備真備のご先祖の墓と考えられます。



総社市 作山古墳 (総社市三須)

墳長が282mの前方後円墳で、吉備では作山古墳に次いで第二位の大きさです。古墳時代中期前半（今から約1600年前）の時期です。作山古墳の次につくられた吉備の大王の墓です。周濠はなく、周囲には丘陵を加工した段がめぐっています。墳丘は極めて良好に保存されていて、後円部三段、前方部三段、斜面には葺石が葺かれ、テラスには埴輪列がめぐっています。



赤磐市 両宮山古墳 (赤磐市穂崎・和田)

墳長が206mの前方後円墳で、吉備では作山古墳に次いで第三位の大きさです。古墳時代中期前半（今から約1600年前）の時期です。作山古墳の次につくられた吉備の大王の墓です。周囲には水をたたえた周濠が残っていて、何となく洒落た感じを受けます。ところが、発掘調査では葺石も埴輪も出土していません。もともとなかったと考えられています。その理由は謎です。

